

【平成 22 年度・ミクロ経済学 II・課題 3】

【問 1】完全競争市場に直面する企業に関し次の問いに答えなさい。

- (1) 平均費用 (AC)、平均可変費用 (AVC)、限界費用 (MC) とはどのような費用概念かを数式と言葉で説明し、総費用関数から導き出す方法も言葉で説明しなさい。
- (2) 平均費用曲線 (AC 曲線)、限界費用曲線 (MC 曲線) を図示し、かつ図中に損益分岐点(BEP)を示しなさい。
- (3) いま、市場で価格が BEP より高い水準で与えられたとする。このとき、当該企業が獲得できる利潤 (超過利潤) を図中に斜線でしめしなさい。
- (4) (2) のように、企業が利潤 (超過利潤) を獲得できる場合、市場で次に何が起こり、価格はどのように変化するかを述べなさい。
- (5) (3) で答えた過程により、超過利潤がゼロになる場合でも当該企業は正常利潤を獲得できるが、それはなぜか**機会費用の概念**を用いて説明しなさい。

【問 2】完全競争市場に直面するある企業の (総) 費用関数が  $TC=0.2q^2+12$  である。このとき、次の問いに答えなさい。ただし  $q$  はこの企業の生産物の産出量を表し、 $q \geq 0$  とする。

- (ア)平均費用 (AC) 関数と限界費用(MC)関数をそれぞれ求め、かつ求めたこれらの関数を図示しなさい。(大体の形でなく、正確に描くこと)
- (イ)X の値がどの値のとき AC は最小となるか求めなさい。
- (ウ)市場で生産物の価格が  $P=8$  と与えられたとき、この企業が利潤を最大とするには、どれだけ生産すればよいか、最適生産量を求め、かつそのときの利潤を求めなさい。